

『トンネルのむこう』 古屋璃佳

私には、くぐってみたいトンネルがある。

そのトンネルをくぐり抜けたら、何か新しい世界が広がっていて、キラキラ輝いている私になれる気がするから。

鎌倉文学館。ここは、私が今一番訪れてみたい場所だ。初めて写真で丸い石のトンネル、風にゆれる花々、かわいい窓が沢山ある建物を見た時、心がふわふわして、今すぐ電車に飛び乗りたくなった。私は鎌倉に行ってみた。一度も行った事はないけれど、パソコンの画面の中でイメージする。初めて乗る江の島電鉄。キラキラ光る海に憧れながらゆれる。ガタゴト？それともカタンカタン…。どんな音で走るのだろう。由比ヶ浜駅で降り七分歩く。どんな景色とにおいと音が私を待っているのだろう。そして文学館に着いたら、あのトンネルを一気にかけ抜けるんだ。まずは庭を歩きたい。そして大好きな俳句を作ろう。鎌倉には新しい自分がある。そんな気がする。